津波避難計画に係るワークショップ実施計画

1. 目的・趣旨

本検討会におけるワークショップ(徳島県海陽町および愛知県弥富市の2市町にて実施。)は、本検討会の報告書(案)をもとに、実際の自治体において地元の関係団体や住民の方を交えてモデル的に津波避難計画を策定(又は修正)し、ワークショップにおける津波避難計画の策定過程や策定した津波避難計画を本報告書に掲載することで、全国の津波避難計画の策定の参考とするもの。

2. スケジュール

	時期(予定)	内容	参加者
第1回	9月25日 (海陽町) 10月5日 (弥富市)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップに関する趣旨説明 ・県下の津波浸水想定の見直し状況、津波避難計画策定指針の策定(見直し)状況等 ・市町における津波避難対策の現状等 ・今後の作業内容及びスケジュール ・学識経験者からの助言等 	自治体・関係機関・防災リーダーを中心に20名程度。
第2回	1月14日 (海陽町) 12月7日 (弥富市)	<ul style="list-style-type: none"> ・市町全体及び地域における津波避難計画見直しの趣旨、今後の作業内容及びスケジュール説明 ・津波避難について(講義) ・地域ごとのタウンウォッチングにより、まちがどれだけ津波に対して危険かを確認した上で、避難経路や避難場所を確認 	5地区程度で各7~8名、全体で40名程度の住民を予定。第1回メンバーも参加。
第3回	1月26日 (海陽町) 12月22日 (弥富市)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における津波避難計画図(津波浸水地域、避難場所、避難路等)の作成 ・地域における津波避難計画(避難場所・避難路の問題点・対策、津波警報等の情報伝達・収集方法、災害時要援護者への対応、避難前に行うべきこと等)の作成 <p>→白地図にタウンウォッチで確認した内容を書き込む作業を行い、地図の作成を行います。</p>	5地区程度で各7~8名、全体で40名程度の住民を予定。第1回メンバーも参加。
第4回	2月3日 (海陽町) 1月19日 (弥富市)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施 ・避難訓練に基づく反省会(津波避難計画を検証するとともに、津波避難計画に反映) 	5地区程度で各数十名程度の住民を予定。第1回メンバーも参加。

3. 参加者

- 市町村防災担当職員
- 県防災担当職員
- 気象台職員
- 地方整備局職員
- 消防職員
- 地元警察官
- 地元小中学校長又は教員
- 消防団員
- 婦人防火クラブ員
- 児童委員・民生委員
- 自主防災組織会長又は自治会長
- 地域住民 など